

令和6年 安曇野市版環境家計簿 集計結果

1. 目的

「安曇野市地球温暖化対策実行計画」の推進に関連し、エネルギー消費に係る二酸化炭素排出量の把握と、市民への普及啓発を目的として実施した。

2. 対象者

市内在住の世帯

3. 調査方法

郵送、メール、ながの電子申請サービスにより調査票の送付や回収を行った。

4. 調査項目

(1) エネルギー消費量 (電気・LPガス・灯油・ガソリン・軽油・水道の使用量)

※令和6年から水道の使用量を調査項目に追加。水道量の報告は任意。

(2) 省エネについて日頃取り組んでいること

5. 調査期間

令和6年1月1日～12月31日

6. 報告世帯数・世帯の概略

(1) 世帯数：67世帯 (内水道の使用量の報告は44世帯)

(2) 世帯の平均人数：2.9人 (1人～7人)

(3) 住居の種別：一戸建て 63世帯／アパート 4世帯

(4) 自動車の平均保有台数：ガソリン車 2.0台／軽油車 0.3台

7. 調査結果

今回の集計結果について、エネルギー源ごとの1世帯あたりおよび1人あたり温室効果ガス排出量を前回集計結果と比較すると、表1のとおりであった。令和6年から報告項目に追加した水道の1世帯あたりおよび1人あたり温室効果ガス排出量は、表2のとおりであった。

表1 エネルギー源ごとの1世帯あたりおよび1人あたりの温室効果ガス排出量の比較

エネルギー源	温室効果ガス排出量(単位：kg-CO2)					
	1世帯あたり(R5)	1世帯あたり(R6)	増減(R5→R6)	1人あたり(R5)	1人あたり(R6)	増減(R5→R6)
電気	2,516.2	2352.4	-6.5%	803.8	808.3	0.56%
LPガス	487.6	456.3	-6.4%	155.8	156.8	0.64%
灯油	1,280.2	1309.0	2.3%	408.9	449.8	9.98%
ガソリン	2,061.3	1826.4	-11.4%	658.5	627.5	-4.70%
軽油	253.4	287.3	13.4%	81.0	98.7	21.94%
合計	6,598.7	6231.5	-5.6%	2,107.9	2,141.1	1.57%

表2 水道の1世帯あたりおよび1人あたりの温室効果ガス排出量

エネルギー源	温室効果ガス排出量(単位：kg-CO ₂)					
	1世帯あたり(R5)	1世帯あたり(R6)	増減(R5→R6)	1人あたり(R5)	1人あたり(R6)	増減(R5→R6)
水道	—	104.8	—	—	37.5	—

今回の集計で採用した温室効果ガス排出係数は、表3のとおりである。過年度分集計結果との比較のため、電気・LPガス・灯油・ガソリン・軽油の排出係数は平成25年度より変更していない。

表3 温室効果ガス排出係数

エネルギー源	排出係数	エネルギー源	排出係数
電気	0.516 [※]	ガソリン	2.3
LPガス	6.2	軽油	2.6
灯油	2.5	水道	0.44

※環境省報道発表資料による (<https://www.env.go.jp/press/press.php?serial=17532>)

なお、「第一次安曇野市地球温暖化対策実行計画」では、電気、LPガス、灯油の合計を民生家庭部門として計算している。今回の同じ項目の合計は、4.12t-CO₂であった。実行計画に掲載されている平成20年度(2008年度)の排出量推計結果(3.12t-CO₂/世帯)と比較すると、1世帯あたりの排出量は約1.3倍に増加している。

表4 1世帯あたり排出量の前回推計結果との比較 増減率以外の単位：t-CO₂

実行計画策定時推計(H20年度)	前回(R5年)	今回(R6年)	増減率(H20→R6)
3.12	4.28	4.12	33.0%

また、今回の調査で寄せられた、省エネに関する取り組みは以下のとおりであった。

- ・使う部屋を少なくして、冷暖房を使いすぎない。
- ・国の節電プログラム促進事業の指定日、時間に電気を使わないようにした。
- ・太陽光パネルを設置している為、日中に洗濯機や食洗機を使用する。
- ・暖房器具をいつまでもダラダラ使わないように、タイマーでオフの管理。
- ・こたつも ECO モードにする。
- ・冬は湯タンポをこたつに入れ、寝る時はこれをふとんに入れて就寝。
- ・寝る前は早めに暖房を切る。
- ・2階にもある温水器を年中スイッチ on にしていたが、冬季以外は（3月から10月）スイッチを切にした（実施したら月千円位安くなった）。
- ・魚を焼くとき2日分まとめて焼いて、次の日はレンジであたためる。
- ・夏は朝の早いうちに調理をし、小分けにして冷蔵庫に入れる。
- ・調理は圧力鍋を使ったり、連続してガス台を使用する。
- ・食器を洗うときはなるべく低温にする。
- ・冷蔵庫に物をつめこみすぎないようにする。
- ・炊飯器の保温機能をできるだけ使わない。
- ・省エネエアコンに買い替えた。
- ・太陽熱温水器の利用。
- ・ソーラーシステムの有利な売電価格（10年）終了に備えて、蓄電池2台を入れました。
- ・暖房専用ボイラーを21年ぶりにエコフィールタイプのボイラーへ変更した。
- ・風呂は1W2回 安曇野市無料入浴施設使用。
- ・節水シャワーヘッドへの更新。
- ・お米のとぎ汁は植木に利用。
- ・開口が大きい窓4か所に内窓を設置。
- ・冬カーテン2重。断熱材を窓、玄関ドアに貼る。
- ・部屋の密閉度をあげる。
- ・遮光カーテン。
- ・窓側に緑のカーテン（①かぼちゃと朝顔②いんげんと朝顔）夕方屋根にホースで水をまく。朝顔かぼちゃ、朝顔いんげんにも上から水をまく。打ち水の効果あり。
- ・暖房便座、洗浄水温度を低めにした。トイレのフタをしめる。
- ・車はなるべく同じ方向にまとめて用を足す。
- ・自転車通勤にした。
- ・まとめ買いで車の使用を減らす。